

2024年度 活動報告・2025年度 活動計画

放射線・線量委員会

2025年 6月

委員長	長束	澄也（コニカミノルタ株式会社）
副委員長	山内	宏祥（バイエル薬品株式会社）
副委員長	丸田	裕一（コニカミノルタ株式会社）

1. 放射線・線量委員会の概要

～役割と基本方針～

- ・ 医療機器及びその関連機器の放射線・線量に関して、
放射線・線量管理の在り方の検討を行い、
懸案事項に対する課題を明確化する。
- ・ 国内外の関係団体（医療被ばく研究情報ネットワーク、日本放射線技術学会、
DITTA/AdvaMED、IEC/DICOM、・・・）
ならびに、当工業会関係部会・委員会、と連携し、課題に対応して行く。

2024年度 活動報告（1）

1. J-RIME(医療被ばく研究情報ネットワーク)第16回総会（2024年6月開催）

- ・放射線治療装置・核医学装置・放射線線量に関連する**国内外規格の動向を中心に、ユーザと情報共有**した。

2. J-RIME 診断参考レベルワーキンググループ

- ・**次期診断参考レベル改訂（DRLs2025）**のワーキンググループ（DRL-WG）に、オブザーバーとして参加し、WGからの要請に応じて、データ収集における協力などの活動を行った。

2024年度 活動報告（2）

3. 第1回日本医療放射線技術学術大会※ JIRAワークショップ（2024年10月開催）

（※ 第40回日本診断放射線技師学術大会と第52回日本放射線技術学会秋季学術大会との合同開催）

- 「被ばく管理システムのさらなる普及に向けた
ユーザ側とメーカ側の連携」をテーマに、
合同開催2学会からの演者とともに、
現場課題も含めた活発な意見交換を行った。



4. AdvaMED-XR会議（2024年12月開催）

- RSNA（北米放射線学会）2024期間中にシカゴで開催されたMITA-XR会議に参加し、ICRP2023の位置付け、日本開催ゆえのトピック、次期勧告への動向、などを説明し、欧米を中心とした参加者と意見交換を行った。

2025年度 活動計画

- (1) 「データが変える医療」の実現に向けた環境整備
- (2) グローバル市場での競争力の強化
- (3) JIRA産業の振興と関連領域との連携強化
- (4) 線量管理・放射線被ばく防護関連情報の発信

・・・2024年度活動の継続を、

「JIRA画像医療システム産業ビジョン2030」に沿って進めて行きます。

ご視聴
ありがとう
ございました



一般社団法人 日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association